

令和 7 年度 事業報告

令和 7 年度は、県、J R 東日本及び当協会との連携による秋季観光キャンペーンを実施し、地域に根ざした特色ある秋祭りを中心に、本県の魅力ある秋の観光素材を P R するなど、国内外に向けての誘客促進に取り組んだ。観光庁の宿泊旅行統計調査による令和 7 年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、約 558 万人泊となり、物価高による旅行需要の減少等の影響により全国的に減少傾向にある中、前年比で約 4.9%の減少となった。

一方、外国人観光客については、円安基調を背景に、花巻・台湾定期便の好調な利用実績に加えて、近年の「みちのく潮風トレイル（青森県八戸市から福島県相馬市までの約 1,000 km の自然歩道）」の海外からの人気の高さなどを追い風に、外国人宿泊者数は 429 千人泊となり、前年比の 11%増、令和元年比の 24%増となり、大きく増加する結果となった。

こうした状況の中、当協会では、大都市圏において国内観光や教育旅行の誘致説明会を現地開催したほか、旅行会社を訪問しての教育旅行メニューの紹介や教育旅行ガイドブックの改訂を行うとともに、旅行会社の沿岸地域等への招待などにより誘致宣伝活動を行った。

また、国際観光の分野では、外国人講師による接遇研修において、従来の台湾語・中国語に加えて、近年増加傾向の欧米等の観光客向けに英語版を実施したほか、タイ、台湾での旅行博や現地旅行会社との商談会に出席した。加えて、北東北三県・北海道ソウル事務所において、事務所長を駐在させ、韓国旅行会社と観光事業者との現地商談会や旅行会社の招請ツアー、SNS を使った情報発信などにより、本県観光の紹介宣伝を行った。

さらに、令和 7 年 3 月に DMO（観光地域づくり法人）に登録されたことを受け、新たな観光需要に対応した持続可能な観光地域づくりを進めるため、専門人材を活用しながら、市町村等におけるデータマーケティング実践の普及や、登録に向けた支援等を行うとともに、地域 DMO との連携を図る調整会議を開催するなど、都道府県 DMO としての取組を推進した。

I 観光宣伝紹介

1 観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光情報総合サイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種イベントや桜等の季節の情報の掲載やSNSでの観光情報の発信等を行ったほか、県等と連携して実施した秋季観光キャンペーンの情報等を積極的に発信した。

また、バナー広告を募集し掲載した。(4～6月 10社、7～9月 11社、10～12月 10社、1～3月 9社、延べ40社掲載)

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数 (対前年度比)	(4,636,515件) (22.5%増)	(2,514,725件)	2,451,775件 (2.5%減)

※ 令和6年度からホームページをリニューアルしたため、令和5年度と令和6年度のアクセス件数は比較できないこと。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光情報総合サイト「JAPAN 47 GO」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

(3) パブリシティ(宣伝媒体)有効活用事業

令和7年9月～11月に開催の岩手県秋季観光キャンペーン「秋は短し、旅せよ岩手 WANDER IWATE キャンペーン」のPR等の広告宣伝として、タウン誌等を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
R7.9	旅情報誌「遊人」 (10月・11月秋号)	3万部(九州)	いわて三陸の旅をテーマに、震災復興の様子やみちのく潮風トレイルなどの観光宣伝紹介
R7.10	タウン情報誌7誌 (アキュート11月号ほか)	25万部(東北6県及び栃木県)	岩手県秋季観光キャンペーンのテーマに沿ったみちのく潮風トレイル、酒蔵見学などの観光宣伝紹介

(4) 観光宣伝媒体作成事業

本県全体の観光地を紹介する岩手県観光案内図「いわて旅の地図」(20万部)を作成し、観光客等に広く配布した。

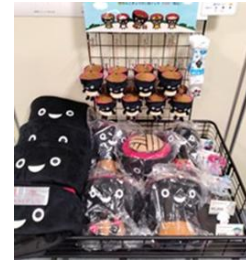
(5) 観光キャラクター活用事業

本県のPRキャラクター「わんこきょうだい」のグッズを配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

若年層をターゲットに、岩手県公式Vtuber「岩手さちこ」を活用したグッズを試行的に作成販売し、本県への観光客誘致拡大を図った。

・販売個数	わんこきょうだい缶バッジ	31個
	わんこきょうだいラバーストラップ	14個
	そばっちぬいぐるみ	214個
	そばっちぬいぐるみストラップ	986個
	そばっち着ぐるみ帽子	16個

岩手さちこアクリルスタンド（花巻傘）	1 個
岩手さちこアクリルスタンド（冬服）	1 個
岩手さちこアクリルスタンド（秋服）	8 個
岩手さちこアクリルキーホルダー	10 個
岩手さちこアクリルバッジ	12 個
岩手さちこスマホ用ステッカー	218 個



Ⅱ 国内観光客の誘致促進

1 国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏からの誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、大阪市、名古屋市の旅行会社の担当者等を対象とした観光客誘致説明会（「いわての旅」観光商談会）を開催し、本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行い、県内の観光・宿泊施設等との商談を通じて旅行商品の造成を促進した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 ホテルメトロポリタンエドモント	R7.9.17	旅行会社（22 社 44 名）、岩手側（47 名）
名古屋会場 名鉄グランドホテル	R7.11.17	旅行会社（10 社 23 名）、岩手県側（49 名）
大阪会場 アートホテル大阪ベイタワー	R7.11.18	旅行会社（9 社 18 名）、岩手県側（53 名）

(2) エージェント(旅行会社)招待事業

県北・沿岸地域の旅行商品の造成及び販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行会社を招待し、景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との意見交換会を行った。

実施日	招 待 者	主な視察先等
R8.3.9 ～3.11	2 社 6 名 （株）阪急交通社 （東京、名古屋、福岡） クラブツーリズム（株） （東京、名古屋）	久慈市（道の駅やませ土風館）、田野畑村（北山崎、ホテル羅賀荘）、岩泉町（龍泉洞）、宮古市（学ぶ防災ガイド、浄土ヶ浜パークホテル）、大槌町（ホテルはまぎく、体験メニュー）、釜石市（釜石大観音）、大船渡市（かもめテラス）、陸前高田市（東日本大震災津波伝承館）等

・意見交換会 2 回 岩手県側 28 名参加（10 日 15 名、11 日 13 名）



学ぶ防災（宮古市）



意見交換会（三陸花ホテルはまぎく）

2 教育旅行の誘致促進

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要市場である北海道、東京都及び大阪府において、訪問活動や教育旅行説明会を行い、本県の教育旅行プログラムや受入態勢等について紹介宣伝を実施した。

また、岩手県観光協会内「いわて教育旅行相談窓口」において教育旅行コンテンツや受入に必要な情報の提供などの旅行会社や学校に対する支援を行った。

さらに、東北観光推進機構が主催した東北教育旅行セミナーや現地研修会のセミナー・商談会に支援・参加し、誘致宣伝活動を行った。

ア いわて教育旅行相談窓口の設置

- ① 相談受付件数：20 件
- ② 相談者内訳：学校 3 件、旅行会社 17 件
- ③ 相談内容：資料請求などの相談

イ 説明会

会 場	実 施 日	参加状況
函館会場 プレミアムホテルキャビンプレジデント函館	R7.8.5	旅行会社 6 社 8 名 岩手側 32 団体 45 名
札幌会場 ホテルポールスター札幌	R7.8.6	学校 6 校 6 名、旅行会社 6 社 26 名、岩手側 34 団体 47 名
東京会場 ホテルメトロポリタン池袋	R7.8.21	学校 1 校 2 名、旅行会社 8 社 17 名、岩手側 35 団体 47 名
大阪会場 アートホテル大阪ベイタワー	R7.11.19	旅行会社 7 社 20 名 岩手側 26 団体 33 名



札幌会場 田辺部会長挨拶



東京会場 商談の様子

ウ 訪問活動

実施日	訪 問 先	訪 問 者
R7.6.19	仙台市内の旅行会社 2 社	事務局
R7.6.30 7.2～3	札幌市内及び函館市内の旅行会社 10 社、 学校 2 校、市教育委員会 2 ヶ所	幹事長及び事務局
R7.7.22 ～7.23	東京都内の旅行会社 5 社、修学旅行関係団 体 2 団体	幹事長、事務局及び東京事務 所担当者
R7.9.4 ～9.5	大阪市内の旅行会社 6 社、修学旅行関係団 体 1 団体	幹事長、事務局及び大阪事務 所担当者

エ 誘致宣伝活動（一般社団法人東北観光推進機構主催事業）

実施日	内容・会場	参加状況
R7.7.1	東北教育旅行セミナー 札幌会場 ホテルモントレエーデルホフ札幌	学校 20 校 21 名、旅行会社 7 社 43 名、岩手側 10 団体 10 名 (東北全体 47 団体 47 名)
R7.7.24	東北教育旅行セミナー 東京会場 品川プリンスホテル	学校 2 校 4 名、旅行会社 7 社 55 名、岩手側 13 団体 13 名 (東北全体 72 団体 72 名)
R7.9.3	東北教育旅行セミナー 大阪会場 ホテル阪神大阪	旅行会社 6 社 21 名、岩手側 7 団体 7 名 (東北全体 48 団体 48 名)
R7.11.2	現地研修会 岩手県教育旅行セミナー キヤピタルホテル 1000	学校等 6 団体 8 名、岩手側 9 団体 13 名
R8.2.4	現地研修会 岩手県教育旅行商談会 大船渡プラザホテル	旅行会社 8 社 15 名、岩手側 22 団体 29 名

オ 教育旅行ガイドブックの改訂

既存のガイドブックの内容の改訂を行うとともに、岩手県観光情報総合サイト「いわての旅」に掲載し、本県の教育旅行に関する情報発信を実施した。

作成部数：2 千部



Ⅲ 国際観光の推進

1 外国人観光客の誘致宣伝

外国人観光客の誘致に向けて、関係機関と連携し台湾、タイでの旅行博等に参加し、観光地の紹介や情報の発信に取り組んだ。

実施日	訪問先	参加イベント、派遣者数
R7.11.19～11.24	タイ（バンコク）	タイ FIT フェア、1 名
R7.12.5～12.7	台北市	日本東北遊楽日、1 名



タイ商談会



台湾岩手県出展ブース

2 外国人観光客の受入

(1) 国際航空便歓迎行事等

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、「花巻空港国際航空便歓迎実行委員会」において、いわて花巻空港の国際航空便（台北）を利用して来県する外国人観光客に対して、横断幕やのぼり旗の掲出、観光パンフレットや記念品の配布などの歓迎対応を行った。

また、韓国チャーター便運航時には、関係団体等と連携して歓迎対応を行った。

(2) 外国人観光案内所運営支援（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所^{※1}」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

海外から来県した旅行会社等の歓迎行事や意見交換会等に参加し、情報交換を行った。

実施日	内 容	会 場	参加者
R 7. 4. 16	タイ旅行会社との商談会 (花巻市主催)	花巻温泉	タイ側3名、岩手県側21名

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を行った。また、韓国旅行会社と観光事業者との観光商談会や、韓国旅行会社の招請ツアーを実施し、旅行商品造成の支援を行った。

ア 北東北三県・北海道観光商談会

実施期間	参加者
R 7. 9. 9	韓国側75社、岩手県側10団体（4道県32団体）

イ 招請ツアー

実施日	参加者	主な視察先
R 7. 6. 19 ～6. 22	韓国旅行会社2 名・ソウル事務所 1名	田野畑村内（北山崎等）、岩泉町内（龍泉洞等）、宮古市内（浄土ヶ浜等）、釜石市内（釜石大観音等）、大船渡市内（穴通磯等）、三陸鉄道、他

ウ SNSを活用した情報発信

事務所職員の取材に基づく県内観光情報の発信

IV 受入態勢の整備

1 来県する観光客への対応

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求

等に対応した。

また、外国人観光客に対して情報を提供する「V案内所」を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア 観光情報等の問合せへの対応

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
観光相談	2,415 件	1,606 件	1,296 件
資料送付	1,269 件	954 件	770 件
合 計	3,684 件	2,560 件	2,066 件

イ うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区 分	令和7年度
問合せ別件数	窓口：4 件 、 電子メール：11 件
内 容 別 件 数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：12 件 印刷物：2 件 交通：2 件 食事：1 件、生活・その他一般：1 件

ウ 苦情等への対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意 見	2 件	① 熊の脅威について ② 県南地区のスキー場における対応について
苦 情	1 件	① ホームページのイベント情報表示への不満
計	3 件	

(2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」での運営経費の一部を負担した。

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来 訪 件 数	56,248 件	50,430 件	33,469 件
電 話 ・ 書 面	1,466 件	1,461 件	1,358 件
宿 泊 案 内	3,669 件	3,862 件	2,824 件

令和5年度及び令和6年度は南口と北口（臨時案内所）の件数。令和7年度は南口のみ。

2 観光人材の育成

(1) 観光ガイド育成事業

県内各地で活動する観光ガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ガイド連絡協議会」（「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」から令和6年度名称変更、事務局：（一社）花巻観光協会、加入団体31（ガイド団体19、支援団体12））の活動を支援した。

ア 視察研修

実施日	参加者	主な視察先
R 7. 7. 14 ～7. 15	観光ガイド等 42 名	三熊野神社・毘沙門堂、旧小原家住宅、丹内山神社、土沢商店街まちあるき、花巻新渡戸記念館

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体から他の模範とするに足りると認められ推薦された者を優良従事者として表彰した。

※ 岩手県主催の「令和7年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）」と合同で実施。

副知事出席

- ・期日 令和7年5月16日（金）
- ・会場 サンセール盛岡
- ・被表彰者 8名（下記のとおり）

区 分	推薦団体名	所属団体名	氏 名
宿泊・観光施設関係	公益財団法人盛岡観光コンベンション協会	株式会社盛岡シティホテルズ	杉澤 裕
		株式会社盛岡シティホテルズ	坂本 孝平
		株式会社盛岡シティホテルズ	後藤 直人
	一般社団法人大船渡市観光物産協会	株式会社サクラダ	今野 隆剛
		株式会社海楽荘	大坪 優介
	一般社団法人花巻観光協会	花巻温泉株式会社	照井 伸
	矢巾町観光協会	矢巾観光開発株式会社	村松 保子
		矢巾観光開発株式会社	小田野 幾江

(3) 接遇及び観光課題研修事業

本県の「おもてなし」の向上や観光課題把握のため、県内の観光事業者や団体職員を対象とした研修動画（初級編、台湾編、中国編、英語編、岩手観光SNS活用研修会）を作成し、賛助会員向けに公開している。

また、SNSの特徴や効果的な情報発信のポイントを学ぶ「岩手観光SNS活用研修会」を実施した。

さらに、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、日本人、英語編及び台湾編の観光客向けのおもてなしの講師を派遣する事業を行った。

ア おもてなしの心向上研修及びSNS活用研修会 研修動画配信

内 容	R7アクセス件数（視聴者数）
初級編 基礎的なおもてなし	26 件（23 名）
台湾編 台湾人観光客のおもてなし	9 件（8 名）

中国編 中国人観光客のおもてなし	3 件（3 名）
インバウンド英語編 外国人観光客のおもてなし	24 件（16 名）
岩手観光 SNS 活用研修会（令和 8 年 1 月まで）	34 件（27 名）

イ 岩手観光 SNS 活用研修会 開催

実施日	内 容	参加者
R 8. 2. 3	観光プロモーションのための SNS 活用研修 各 SNS の特徴、「旅マエ・旅ナカ・旅アト」でのプロモーションのポイント、グループによる「旅マエ・旅ナカ・旅アト」の課題に対応した投稿案のワーク	賛助会員等 23 名

ウ 接遇研修会講師派遣事業 合計 7 回

実施日	実施団体	内容	参加者
R 7. 4. 1	小岩井農牧(株)	台湾	職員等 95 名
R 7. 7. 8	キャピタルホテル 1000	日本基礎	職員等 12 名
R 7. 7. 16	軽米町観光協会	英語	観光関係者 16 名
R 7. 7. 22	(一社)二戸市観光ツーリズム協会	英語	観光関係者 12 名
R 7. 12. 18	岩手県空港ターミナルビル(株)	英語	ビルテナント職員等 15 名
R 8. 2. 6	(一社)岩泉町観光協会	日本応用	観光関係者 14 名
R 8. 2. 18	(株)平泉レストセンター	台湾	職員等 29 名



小岩井農場研修



岩手県空港ターミナルビル研修

3 多様な顧客ニーズへの対応

(1) 「いわてバリアフリー観光^{注2}情報案内所」管理運営

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、協会ホームページ「いわての旅」の「いわてバリアフリー観光情報案内所」ページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

また、心のバリアフリーに関する研修会を開催した。

- ・相談件数 8 件
- ・心のバリアフリーでおもてなし研修会

実施日 令和 8 年 3 月 6 日（金）

会 場 サンセール盛岡
出席者 38 名
講 師 株式会社旅日記 代表取締役 小笠原 一雄氏
演 題 誰もが安心して楽しめる旅について

(2)「観光の日^{注3}」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年（平成 12 年）に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう 5 月 16 日を「いわて観光の日」と定めており、講演会を開催した。

- ・実施日 令和 7 年 5 月 16 日（金）
- ・会 場 サンセール盛岡
- ・出席者 72 名
- ・講 演 演題 「持続可能なアドベンチャートラベル」～地域の価値の再発見と高め方～
講師 北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井 一洋氏

V 関係団体等への支援と連携

1 関係団体への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加

県や関係機関等が実施する観光イベント等に参加し、観光PRを行った。

実施日	開催地	イベント名称等
R7. 4. 12～13	名古屋市	第 11 回名古屋空港から出かけよう！日本の名産・観光めぐりフェア
R7. 6. 7～8	旭川市	第 28 回全国菓子博覧会・北海道「あさひかわ菓子博」
R7. 8. 27～28	東京都	いわて秋旅キャンペーン 2025 首都圏駅キャラバン
R7. 8. 29	東京都	いわて秋旅キャンペーン 2025 首都圏メディアキャラバン
R7. 8. 30～31	東京都	いわて秋旅キャンペーン 2025 銀河プラザ PR イベント
R7. 9. 1～2、 9. 6～7	さいたま市	岩手産直市 in 大宮駅
R7. 9. 6	盛岡市	いわて秋旅キャンペーン 2025 オープニングセレモニー

R 7 . 10 . 25～26	東京都	淑徳大学学園祭 第 62 回淑徳祭
R 7 . 10 . 29～30	東京都	組合まつり in TOKYO2024（主催：東京都中小企業団体中央会）
R 7 . 11 . 30	盛岡市	いわて秋旅キャンペーン 2025 クロージングセレモニー
R 7 . 12 . 17	東京都	いわて冬旅キャンペーン 2025 首都圏メディアキャラバン
R 7 . 12 . 18～19	横浜市 川崎市	いわて秋旅キャンペーン 2025 首都圏駅キャラバン

イ 後援、共催

雫石町教育委員会が主催する「第 23 回南部よしやれ全国大会」など、29 のイベント等に対して後援・共催を行った。

2 関係団体等との連携

(1) (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出した。

(2) (一社) 東北観光推進機構事業

東北 6 県・新潟県・民間団体等で構成する(一社)東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対し負担金を拠出した。

(3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う香港メディア招請事業などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出した。

(4) 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対し負担金を拠出した。

3 魅力ある観光地づくり支援事業

(1) 教育旅行受入施設支援緊急対策支援金業務（県受託事業）

「教育旅行受入施設支援緊急対策支援金」に係る申請・実績報告書受付、審査及び支援金支出の業務を受託し実施した。

対象宿泊実施期間	支給件数	延べ宿泊者数
R 6 . 10 . 1 ～ R 7 . 1 . 31	25 件	7,033 人
R 7 . 2 . 1 ～ R 7 . 2 . 28	3 件	426 人
R 7 . 3 . 1 ～ R 7 . 6 . 30	36 件	21,446 人
R 7 . 7 . 1 ～ R 7 . 9 . 29	20 件	4,355 人
合 計	84 件	33,260 人
	支援金支出事業者数 41 者	

VI 県域DMOとしての観光地域づくり

1 魅力ある観光地域づくりへの支援

(1) データ分析・マーケティングの強化

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や専門人材と連携し、「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）^{注4}」を活用したデータ分析結果を賛助会員等に提供したほか、専門人材による県内4圏域ごとの観光分析レポートを作成した。

また、いわて観光DMPを利用したデータマーケティング実践の定着を目的として、県内の市町村、市町村観光協会、DMO^{注5}（観光地域づくり法人）、観光事業者等を対象にデータマーケティング実践塾を開催したほか、いわて観光DMPの活用等により観光マーケティングに取り組む市町村等を対象に観光地域づくりワークショップの開催を支援した。

・いわて観光マーケティング実践塾 2025

実施日	会 場	参加状況
R 7. 9. 24	盛岡市 マリオス	県、市町村、DMO 及び観光事業者職員 会場 13 名、オンライン 44 名、専務理事参加

・観光地域づくりワークショップ

実施日・回数	対象市町村	会場	参加状況
R 7. 6. 30 第 1 回	大船渡市	おおふなぼーと	市、観光協会、DMO、大船渡市観光事業者 43 名
R 7. 9. 19 第 1 回・第 2 回	岩泉町	ホテル龍泉洞愛山	町、観光協会、岩泉町観光事業者 20 名
R 7. 11. 11 第 3 回	岩泉町	岩泉町役場	町、観光協会、岩泉町観光事業者 14 名
R 8. 1. 9 第 1 回～第 3 回	葛巻町	複合庁舎 くずま～る	町、観光協会、葛巻町観光事業者 第 1 回 21 名、第 2, 3 回 15 名
R 8. 2. 20 第 2 回・第 3 回	大船渡市	リアスホール	市、観光協会、大船渡地域戦略職員 10 名

(2) 観光地域づくり実践地域の育成

地域間競争に対応できる観光地域づくりを目指し、市町村やDMOに対し、専門人材を派遣して、持続可能な観光地域づくりやDMO登録に向けた支援を行うとともに、国の補助金事業等の情報提供を行った。

また、県内DMO同士の意見交換を目的とした連絡調整会議の開催を行った。

さらには、宿泊事業者や商工会等を対象に宿泊事業者向け経営力強化セミナーを開催するとともに、市町村に持続可能な観光地域づくりについてヒアリングを行った。

・主な会議、研修会

実施日	会議等の名称	参加者
R 7. 5. 16	「いわて観光の日」講演会 「持続可能なアドベンチャートラベル」～地域の価値の再発見と高め方～[再掲]	賛助会員 72 名
R 7. 7. 4	第 1 回 DMO 連絡調整会議 ・観光庁からの改正 DMO 新ガイドラインの説明 ・県内 DMO の報告、事例発表	DMO・市町村等 41 名
R 7. 10. 3	宿泊事業者向け経営力強化セミナー ・講演「ホテル・旅館の経営力強化～REVIC 旅館再生事例より」 ・経営革新計画の事例発表、制度紹介	宿泊事業者等 27 名
R 8. 1. 16	第 2 回 DMO 連絡調整会議 ・講演「せとうちエリアでの観光地づくり」 ・観光庁の令和 8 年度補助金事業等の説明 ・みちのく潮風トレイル推進の取組発表 ・インバウンド観光の分科会	DMO・市町村等 59 名



いわて観光の日講演



第 1 回 DMO 連絡調整会議



経営力強化セミナー

(3) いわて観光DMPを活用した調査の支援

市町村等との委託契約により、いわて観光DMPを活用した調査支援等を 8 団体に対し有償で実施した。

(支援メニュー)

- ・政府統計等の各種観光データをシステム上で提供
- ・自地域の来訪者の実態（観光消費額や動態等）を調査し、その結果をシステム上に構築
- ・自地域保有の観光データを整理しシステム上に構築

【注書きに係る用語解説】

- 1 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所）。
- 2 バリアフリー観光：すべての人が楽しめるように創られた旅行。主に高齢者や障がい者に対応した旅行のこと。
- 3 いわて観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
- 4 いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）：科学的アプローチによる合理的な判断に基づき、着地整備の効果的な展開や戦略的なプロモーションを実施するため、令和4年度より岩手県が整備している各種観光データの収納・分析機能を備えたシステムのこと。
- 5 DMO：Destination Management/Marketing Organizationの略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、データマーケティングなどの科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。